



THE MSBF

2025年度版

2025・3・23版

大会についてのお問い合わせ

大会に関するお問い合わせ先

- 総務委員長／須川 和彦 （大会及び棄権に関する事項）
携帯電話：090-4797-9603
Eメール：sugaken72@gmail.com

- 事務局長／高橋 将哉 （Team-JBA・登録に関する事項）
携帯電話：090-1960-1629
Eメール：mj.nsx.fit-rs.s-classreferee.r35@ict.jp

大会期間中の緊急対応

- 理事長／高山 国士
携帯電話：090-7695-1041
Eメール：karisumacoach@hotmail.com

日中は電話に出れない場合があります。お問い合わせはできるだけメールでお願いします。

コートフロア入場について

出場チームの選手及びベンチスタッフのみ

所属チームのTeam-JBA登録完了者(JBA ID取得者)のみ

HC等のJBA登録証をネックホールダー必須(各自印刷)

ハーフアップ及び自試合前の入場制限は遵守すること

JBA ID 保有者以外フロア及びベンチ入りは出来ません
保有者であっても当該試合に無関係な方は入場不可

コートフロアへ不正入場があった際には該当者及び該当チームに厳罰を科します

観戦者について

JBA ID 保有者以外フロア及びベンチ入りは出来ません
保有者であっても当該試合に無関係な方は入場不可

観戦は2階観客席を利用すること。

また2階観客席からベンチ指示をすることは禁止です。

会場設営について（第1試合開始60分前集合）

- 第1試合の両チームで行い、集合時間は第1試合開始の**60分前**厳守とする
- 第1試合のTOクルーは設営から**除外**します
- 各チーム**最低5人**での設営協力とし、集合時間に5人が揃っていない場合は**ペナルティの対象**とします

※設営は自試合側コートのみとし、それぞれのベンチ及びリングの設置を行う。 TO席は双方のチームが協力すること。

第1試合のTO等について

- 会場設営の対象ではありませんが、担当試合10分前にはTO席にスタンバイすること
- 会場設営の協力を自主的にして頂くことには感謝いたします。

後片づけについて

- 事前公表された日程表の最終試合両チームで行う
- 最終試合が隣のコートより早い場合はその試合の両チームで行う
- 会場責任者が状況を確認します。（各チームの協力が認められない場合はペナルティの対象とします）
- 最終試合のTO（オフィシャル）も後片付けに協力する。

ゴミについて

○各チームで発生したゴミは各自で持ち帰り、またチームでも管理して会場内で処分することの無いようにすること

飲食について

○いかなる場合もコートフロアでの食事(パンやおにぎり等の軽食も含む)は禁止とする

○食事をする場合は観客席を使用すること

○白山体育館、安濃体育館、芸濃体育館、サオリーナ等の公共フロア、ロビーでの水分補強は可能ですが**食事は厳禁です！必ず2階の観客席を利用して下さい。**施設から何度も注意されています

更衣室の積極利用について P14※1参照(競技より説明)

人目に付くような観客席やフロアでの着替えは禁止

ベンチや物陰で着えることも禁止

更衣室またはトイレを使用すること

出場停止等の厳しい措置を講じます

動画撮影について

自試合の撮影のみ許可します

動画撮影は観客席からのみとし、ベンチエリアでの撮影は厳禁とする

○館内コンセントの使用は禁止する(充電等現認した場合は請求する)

動画には対戦相手が必ず撮影されていることに責任を持って対処すること

動画撮影はチームの選手・スタッフ・チーム関係応援者が各チーム単位及び個人での利用を目的とした場合に限り可能とします

SNS等での使用(利用)は個人情報及び肖像権等の権利・義務について使用者の責とし、MSBFは一切の責任を負わないものとします

静止画(写真)撮影について

静止画(写真)に関しての制限はありません

○試合中写真撮影はチーム及び選手・観客(チーム関係者)が各チーム及び個人での利用(SNSを含む)を目的として場合に限り可能

静止画撮影は観客席からのみとし、ベンチエリアでの撮影は厳禁とする

試合終了後の記念撮影はベンチエリア(コートフロア)でも許可する

撮影はチームの選手・スタッフ・チーム関係応援者が各チーム単位及び個人での利用を目的とした場合に限り可能とします

SNS等での使用(利用)は個人情報及び肖像権等の権利・義務について使用者の責とし、MSBFは一切の責任を負わないものとします

肖像権について

1. 三重県社会人バスケットボール連盟主催(主管)大会について、大会へのエントリーをもって、参加者の個人情報(氏名・年齢・性別・記録等)が、大会の報道(映像・写真・記事・記録等)に掲載・利用(新聞・テレビ・雑誌・インターネット・パンフレット等)されることに承諾したものとみなします。
2. 三重県社会人バスケットボール連盟主催(主管)大会における肖像権・映像権利はすべて三重県社会人バスケットボール連盟に帰属し、画像・映像を主催者の許可なく使用・公開することを禁じます。
3. 主催(主管)者は、個人情報(氏名・年齢・性別・記録等)を大会参加者へのサービス向上を目的とし、参加案内、記録通知、関連情報の通知、次回大会の案内、大会協賛・協力団体からのサービスの提供、記録発表等に利用します。主催(主管)者もしくは委託先から確認連絡をさせていただくことがあります。

JSBF 各種規程・レギュレーション 【大会における個人情報及び肖像権に関する取扱いについて】を参照

MSBF主催大会の棄権について（リーグ戦、各選手権）

①棄権を申請するチーム 【当該試合4日前まで(水曜日中を含む以前の日)に棄権連絡をするチーム】

○棄権チームには棄権に伴う請求は発生しない。ただし、下記③は求める

②棄権を申請するチーム 【当該試合3日前から(木曜日以降)試合当日までに棄権連絡をするチーム】

○棄権チームは理由を問わず5,000円(学連は3,000円)を後日MSBFに支払う

③棄権を申請するチームに求める共通項目 【上記の①及び②に共通】

○総務委員長に棄権連絡を入れる(棄権の理由を報告)

○帯同審判割当がある場合、通常通りチーム所属のJBA公認E級以上の審判員が業務を遂行する

①帯同審判がチーム内で確保出来ない場合は、他チームの協力を仰いでもよいが、同等以上のJBA公認審判とする

②MSBF審判委員会に審判欠員を補填してもらう場合には等級に合わせた諸謝金をMSBF審判委員会に支払う

③対戦チームに帯同審判の割当がある場合、棄権を申請するチームが上記①、②で対応すること

○割当られたTO業務は棄権となっても行うこと(15歳以上のTeam-JBA ID取得者であれば他チーム等でも可)

④原則6名とする(棄権連絡時にTO業務可能人数を報告)

⑤最低人数は4名とし、不足分は1名につき500円をMSBFに支払うこと

⑥対戦チームにTOの割当がある場合、棄権を申請するチームが上記④、⑤で対応すること

総

棄権をされたチームに求める項目 【全てに該当】

○棄権されたチームにTO及び審判割当がある場合、棄権を申請するチームが対応するので、会場に来る必要は無い

各種選手権での追加措置について

○棄権申請をする期間に関係無く、**10,000円**の棄権金が発生する（参加料の返金はしません）

負傷者等への対応について

- 大会期間中、怪我等の負傷者への対応は各自または所属チームで対応すること
- 負傷者への最低限の措置はMSBFも協力する

各チームでメディカルバッグ(救急セット)を持参するのが望ましい

スポーツ保険の加入を推奨します

公共フロア・アリーナ・観客席の利用について

- 飲食は可能としますが、ゴミは各自で持ち帰り、館内のゴミ箱は使用禁止とする
- 座席を含む館内設備を汚した場合や物損させた場合は自己の責として弁償すること
※禁止事項を確認した場合、即刻中止して頂きます

館内の電源コンセント利用者をよく見かけますが、使用禁止です

現認した場合、電源使用量としてMSBF規程料金を支払って頂きます

- 認められた通路等でのストレッチやランニングは可とします

ボールを使用した練習(パスやドリブル)はコート以外禁止です

MSBF主催大会の参加申請について

三重県各選手権予選及びリーグ戦の参加申込みはTeam-JBAです。

- 大会毎に参加申込み提出物等が変わりますので、システムの大会要項を熟読すること
- 大会申込締切日を厳守すること

※締切日以降の申込みは受付できません(Team-JBAシステムの設定上不可能)

- 参加費納入はTeam-JBAシステムでの支払いになります。
- Team-JBAシステムでの申込み時、提出資料を求めていきます。必ず添付してください
(例)チーム集合写真

- 年度末には次年度説明会を開催します

※翌年度の登録カテゴリーの確認、各リーグ戦及び各選手権の参加予定確認をします。

※リーグ戦(シニア・OPEN)については翌年度の参加意志を確認しますが、参加表明の場合は必ず大会参加を義務付けとします

入替戦、新規参入チームを踏まえてブロック編成及び対戦日程を作成する事からご理解をお願いします

Team-JBAシステムの問い合わせ先はMSBF事務局です

更衣室の積極利用について

人目に付くような観客席やフロアでの着替えは禁止
ベンチや物陰で着替えることも禁止
更衣室またはトイレを使用すること

出場停止等の厳しい措置を講じます

※1 ベンチエリアでの更衣(着替え)について

- ① アップ後にベンチエリアでユニフォームに着替える際、Tシャツ等から上半身裸の場合は禁止ですがインナーを着ている場合はOKとします。
ただし、アップ時に上半身裸やインナーのみで行うことは禁止です。
- ② パンツに着替える際、バスパン等のアンダーを着ている場合でも一切禁止です。
- ③ 試合後にベンチエリアでユニフォームを脱ぎアンダーになることはOKですが、上半身裸になることは禁止です。
それ以降の着替えやパンツの着替えはいかなる場合でも禁止です。更衣室を利用して下さい。

※ベンチエリアだけで無く、コートフロア内では上記の通りです。

大会本部での受付について

○競技責任者に**当日試合数分のメンバー表を提出** ※提出するメンバー表は下記の事項に注意すること

- ①氏名、背番号、登録番号の下3桁を必須とし、背番号の**若い番号順**に記載すること
- ②裏面に必ず**両面テープ**を貼ること
- ③印刷サイズに注意すること(実際のスコアシートに貼る箇所とサイズが異なると注意されないように)

○参加資格違反、登録規定違反が発覚した場合、その選手及びチームに**ペナルティ**が科されます

・各選手権大会においては、申込み締切日までの登録完了者しか参加資格が認められません

○メンバー表にはHC等の定められた資格保有者を記載し、競技責任者の確認を得ること

○スコアシートに貼られたメンバー表掲載の選手等については管理責任者がチェックします

○試合前のTO席でスコアラーと審判の双方で公認コーチの最終確認をします

大会本部での受付は自試合前のハーフ終了までに完了すること

チーム一覧表の提出は不要です

追加登録等変更が生じた場合のみ、チーム一覧表を大会本部に提出

※注：メンバー登録(追加登録)及び各種規程に違反するもの、試合出場は没収試合とし別途ペナルティを科す

試合中のベンチエリアについて

- ベンチエリアはTeam-JBAに登録したID取得者しか入れません(HC以下ベンチスタッフ含む)
- ベンチエリアを含むコートフロアでの飲食(水分補給は可(蓋があるものに限る))は厳禁です

マスクの着用は各自の判断とする

各ベンチの消毒は必要な場合に次試合チームで行うこと

- 試合終了後、使用したチームの消毒は必要ありません。
- 消毒は次試合チームが自ら判断し、消毒の必要が無いと判断した場合はしなくてよい
- ベンチを使用する際に消毒をしたいチームは各チームで準備持参する(MSBFは用意しない)

椅子を最初の状態に整列復帰させて退出すること

ハーフタイムアップ及び次試合チームの入場について

- コロナ渦前の通常の状態に戻して運営します

ハーフ3分前からフロア入場を許可します

- フロア入場責任者はハーフ及び次試合の3分前より、ハーフアップや次試合の為の準備としての入場を確認します。
- ハーフタイムは10分間です。ハーフアップは3Q開始3分前まで可能です。
3分前のブザーが鳴ったら速やかに退場してください。

次試合のフロア入場は第4Q残り3分前から許可します

- コート上で試合が行われている場合は試合の妨げにならない場所で待機してください。

三重県内の各種大会について

●三重県社会人バスケットボール連盟に登録・所属すると下記の大会に出場できます

- (1) Imuraya cup 三重県社会人バスケットボール選手権大会 【OPEN】
- (2) 井村屋杯 三重県社会人オーバーエイジバスケットボール選手権大会 【OA】 ※OA40M・OA50M・OA40W
- (3) 井村屋杯 三重県社会人バスケットボールフレンドリーシップ大会 【FS】 ※FS40W・FS50MW・FS60MW
- (4) Imuraya League 三重県社会人バスケットボールOPENリーグ 【OPEN・League】
- (5) Imuraya League 三重県社会人バスケットボールOAリーグ 【OA・League】 ※非開催の場合有り

●上記大会について

- (1)及び(4)については年齢制限は無し
- (1)については東海ブロック大会、全日本大会へと繋がる
- (2)については3カテゴリー毎に東海ブロック大会、全日本大会へと繋がる
- (3)については5カテゴリー毎に各県代表1チームが全日本大会に出場できる
- (4)及び(5)は県内リーグ。ただし(4)については1部から3部(現状男子のみ)の年度毎のブロック入替制とする
- (4)の県内リーグ男女1部上位は東海社会人選抜大会へと繋がる
- (一社)三重県バスケットボール協会主管の三重県バスケットボール総合選手権大会の出場も可能

●3×3 OPEN日本選手権三重県予選大会には別途登録が必要

※3×3担当／中島 峻兵 (社会人連盟事業委員長・三重県協会3×3委員長)

携帯電話： 090-5639-3328

Eメール : pe-kichi@outlook.jp

棄権による再試合について

- 棄権による試合数減少により各チームの試合総数に差が生じ、また順位決定をすることに弊害がある
- 棄権された側のチームに不平不満が起こらないように対応する

※よって下記の通りの措置を講じることとする

- リーグ戦の棄権による試合は再度日程に組み込みます。(1対戦につき1回のみ)
- 再日程試合で棄権する場合、当初棄権したチームのみ棄権金の支払いを求める
再度棄権された側チームに支払いは発生しない

①再度棄権を申請するチーム 【当該試合4日前まで(水曜日中を含む以前の日)に棄権連絡をするチーム】

- 棄権チームは理由を問わず3,000円(学連は1,000円)を後日MSBFに支払う

②再度棄権を申請するチーム 【当該試合3日前から(木曜日以降)試合当日までに棄権連絡をするチーム】

- 棄権チームは理由を問わず5,000円(学連は3,000円)を後日MSBFに支払う

対戦数減少による交流戦割当試合は行わない

ユニフォームについて

1. ユニフォームについて

ユニフォーム規定の切り返しの部分の関してのデザインは自由で制限がありません。

■JBAからの回答

切り返しの部分にロゴやマークを入れることも可能。またパンツに関しては切り返しの部分に番号を入れることも可能。



折り返しの部分でも「広告」に関してはJSBの広告規定に準ずる。



ブロック大会以上のJBAユニフォーム規定違反は没収ゲームとなります

1. リバーシブルユニフォームについて

リバーシブルユニフォームを濃淡2着用意した場合は大会にエントリーできます。

カテゴリー	通常のユニフォーム	リバーシブルユニフォーム
地域リーグ	○	△（濃淡2着）
オープン	○	△（濃淡2着）
オーバーエイジ	○	△（濃淡2着）
フレンドリー	○	○

- 淡色は通常のユニフォーム、濃色をリバーシブルユニホームとして濃淡2色のユニフォームを用意した場合は大会にエントリーできます。
フレンドリーは濃淡1着でエントリーできます。

JSBの特別ルールについて

2. 半袖シャツや長袖シャツの着用について

半袖シャツや長袖シャツの着用を認める

- 半袖シャツや長袖シャツのチーム内での混用着用も認める。色はチーム内にて統一とすること。
- 身体のシルエットが分かるコンプレッション系ウェアのみ着用ができます。シルエットわからないシャツや袖元が開いたシャツは着用できません。
- タイツと色を揃えてください。例>シャツが黒ならタイツも黒を着用
- シャツに柄や模様が入ったものは着用できません。全体として単色と認定できるものは着用を認めます。
- シャツに襟裳のライン・腕などのラインに同系色では無い色がついたものは着用できません。
- シャツにメーカーのロゴが入ったものは着用できます。色や大きさなどに制限はありません。

使用できるシャツ



ハイネック



ロゴが入っている



模様があるが
単色と認定できる

使用できないシャツ



模様がある。単色ではない。



ラインに同系色では
無い色がついてる



コンプレッション系の
ウェアではない

JSBでは入れ墨・タトゥーに制限はありませんのでそのための対応ではありません

プレーヤーが競技中に身につけられるもの

色の指定あり

マウスガード(無色透明)

ユニフォームやソックスからはみ出さないものに関しては、色を揃える必要はありません。

プレー中に接触等でユニフォームの中に着用しているものが見えた場合、それははみ出したということにはならないので、他の身につけるものと色が揃っていないものを着用していても、注意することはあります。

ソックスは上記と色を揃える必要無いですが、選手全員で色を揃えること。例>ソックスは白、ロングタイツは黒でもOKです。

色の指定なし

チームで色を揃える必要があるもの

- 腕のコンプレッションスリーブ
- 脚のコンプレッションスリーブ
- ヘッドギア
- リストバンド
- ヘッドバンド
- サポーター類
- ヘアバンド
- 手甲

チームで色を揃える必要がないもの

- 十分にパッドで覆われている肩、上腕、大腿部や下腿部の防具
- 膝の装具(※1)
- 足首の装具(※1)
- 眼鏡
- 負傷した鼻のプロテクター
- テーピング
- マスク

*1／装具とは、骨折や術後の治療に必要となる固定や免荷装具のこと。で、病院で診察を受け、医師の処方のもとに製作し、一時的に使用されるものです。

チームで色を揃える必要があるもの

○腕のコンプレッションスリーブ



○脚のコンプレッションスリーブ(パワータイプ)



○ヘッドバンド



*最大10cmの幅で、繊維素材のもの
※紐が長く垂れすぎないこと

○ヘッドギア



○ヘアバンド



○手甲



○リストバンド



○肩のサポーター



*最大10cmの幅で、繊維素材のもの
※紐が長く垂れすぎないこと

○膝のサポーター



黒色のサポーターとみなします



白色のサポーターとみなします



○足首のサポーター



写真はパウアーフайнド社製のケニトリーンです。2トーンタイプのサポーターは、大部分で使用されている色をそのサポーターの主となる色と判断します。

○指、手および手首のサポーター



○腕・肘のサポーター



着用例

OK

- ① 腕のコンプレッションスリーブ(黒) + ヘッドギア(黒)

NG

- ② 脚のコンプレッションスリーブ(黒) + 膝のサポーター(白)

⇒脚のコンプレッションスリーブとサポーター類は、色を揃える必要があるものです。

OK

- ③ リストバンド(白) + ヘアバンド(白) + 膝の装具(黒)

⇒膝の装具は、リストバンドとヘアバンドと色を揃える必要がないものです。

装具について

装具とは、骨折や術後の治療に必要となる固定や免荷装具のことです。
病院で診察を受け、医師の処方(診断書)のもとに製作し、一時的に使用されるものです。

装具の使用の際は事前に大会本部に診断書などをご提出し使用許可を得てください

○膝の装具



○足首の装具



○眼鏡



○鼻のプロテクター



プレーヤーが競技中に身につけられないものについて

○ユニフォームのシャツからはみ出すシャツ状のもの



○スカーフスタイルのヘッドバンド



JSB主催大会では2023年度より着用可能
JBAの大会ではJBAの規定に準じる

○無色透明以外のマウスピース



(メーカー名、番号・名前が入っているものも着用不可)

○商業的、宣伝的、チャリティー目的の名前やマーク、ロゴやその他特定できるもの



○柔らかいパッドで覆われていても、指、手、手首、肘や前腕の防具

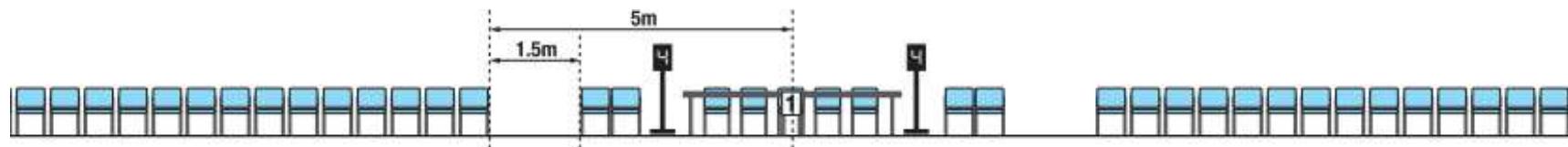


○ヘアアクセサリーや貴金属類



○固定具や支持具で、皮革、プラスティック、合成樹脂、金属、その他硬い素材でつくられているもの
○他のプレーヤーに切り傷やすり傷を与えるようなもの(爪は短く切っておくこと)

コートの設営(原則、デジタイマー対面式)



1. フロアシートを必ず敷くこと
2. ベンチ**14席**を基本とする
3. 交代席は2席とする
4. オフィシャルズテーブルは必ずテーブルを**2台**置くこと
5. オフィシャル席は4席とする(TO主任を配置する場合でもTO主任席は置かない)
6. 対面側デジタイマーテーブル下にもフロアシートは敷くこと

※対面の得点板及び24秒計にパイプ椅子やボードを使用している場合、会場備品のフロアマット
若しくはMSBF所有のマットを使用すること

デジタイマー2台対面式の推進

※有線コードで対面式デジタイマー方式にする場合もあります

空きコートの管理、開放

- 空きコートが発生した場合、会場責任者の許可を得たチーム、選手はそのコートを使用してもよい
- 原則、空きコートの次試合チームが優先して使用できる
- どのチームからも申請が無い場合、会場責任者の許可を得て上記以外のチーム、選手も使用できることとする
- 隣コート試合中でも**ボール使用練習を可能とする**が、隣コートへの影響を常に考慮し対応すること

熱中症対策及び夏季、冬季における対策

- 夏季(概ね6月～10月)期間はMSB所有の強力扇風機を各ベンチに設置し熱中症対策を講じる
- 各チームは上記以外に持込による対策を取ることを認める
 1. 夏季であれば持込による扇風機、スポットクーラー等
 2. 冬季であれば持込によるハロゲンヒーター等
ただし、持込の機器がガソリンや軽油等の燃料が動力によるものは機器とその燃料共に持込を禁止する
 3. 持込機器のコンセント利用は認める。ただし、携帯電話やビデオカメラ等の充電に使用することは禁止する

JSB規程抜粋 ①



一般社団法人 日本社会人バスケットボール連盟

選手の登録期間・大会のエントリー規定

■選手登録・移籍期間（各リーグ戦の大会エントリー）

- 地域／同年10月末日まで
- オープン／自チームのリーグ戦最終試合まで（入替戦や順位決定トーナメントからの追加登録は不可）
- オーバーエイジ／自チームのリーグ戦最終試合まで（入替戦や順位決定トーナメントからの追加登録は不可）
- エンジョイ／自チームのリーグ戦最終試合まで（入替戦や順位決定トーナメントからの追加登録は不可）

入替戦から追加登録できない（助っ人の禁止）

■ブロック大会・全国大会に出場できる選手の大会エントリー規定

チャンピオンシップ・選手権・オーバーエイジ・エンジョイ交流大会のブロック予選・全国大会に関しては下記の期間内に登録を完了してください。

- 全日本社会人バスケットボール選手権大会チャンピオンシップ／同年10月末日まで
- 全日本社会人バスケットボール選手権大会／都道府県の予選大会受付日まで
- 全日本社会人O-40/O-50バスケットボール選手権大会／都道府県の予選大会受付日まで ※ブロック予選を行わない場合は9月末日まで
- 日本社会人レディースバスケットボール交流大会／都道府県の予選大会受付日まで ※予選を行わない場合は全国大会申込日まで

都道府県の予選に登録した選手のみが同じチームで上部大会に出場可能（選手権の厳格化）

大会予選の途中での追加登録はできません。ただしリーグ戦は追加登録・移籍可能

JSB規程抜粋 ②

大学・専門学校の登録について

■大学・専門学校に登録されたチームが都道府県リーグに大会エントリー可能。※試合に参加する楽しみの場所の提供
社会人連盟では現時点で学生のチームが都道府県によってはリーグ戦へすでに参加している状況を鑑みて、大学・専門学校チーム
のリーグ戦のみの参加を認めます。

■大会エントリー条件の設定

- 都道府県連盟リーグ戦のみ大会エントリー可能
- 参加条件についても都道府県連盟の裁量で決めて下さい。全国大会（インカレなど）に出ない選手のみ／BチームのみOKなど
- ただし参加を認めた時はその参加チームからの「専門学校生・大学生の特別受け入れ制度」は適用できません。

高校生・専門学校生・大学生の特別受け入れ制度について（16歳以上）

来春卒業予定の高校生・専門学校生・大学生の「特別受け入れ制度」とは

- 当該公式行事が終了し来春卒業予定の高校生・専門学校生・大学生は**都道府県リーグ戦のみ**参加を認めます。
- 登録区分はU-18・専門学校・大学のままで参加可能です。

親権者(18歳以下)・本人・チームの同意書を提出後、都道府県リーグ戦のみ大会エントリー可能となります。

- リーグ戦の大会エントリー後は他のチームでの大会エントリー（他の都道府県も含む）は一切認められません。
- 選手権大会へは大会エントリーできません。都道府県リーグ戦のみ地域リーグには参加できません。
- 特別受け入れ制度期間は**リーグ戦最終試合（入替戦や順位決定トーナメントからの追加登録は不可）まで**で、ブロック入替戦・地域リーグ入替戦へは**期限前の登録があっても大会エントリー**できません。

帯同審判員について

帯同審判員の服装等

●原則、2025バスケットボール競技規則に基づくものとする

※セカンドユニフォームは適用外

○審判定用のシャツ

※11月以降は長袖アンダーシャツを許可する

○黒色のズボン

※規定のスラックスが望ましい。スウェット、ジャージ、短パン等は不可

○黒色の短パン

※黒色の無地またはワンポイントのみ。着用時期は10月末までのリーグ戦のみとする

※対象はE級・D級の帯同審判のみとする

○その他

・黒色のソックス及びシューズが望ましい

・ライセンスワッペンは必ず付けること

○MSBF審判委員会所属審判員について、レフェリーマスク等着用は個人判断とします。

帯同審判員についても同様とします。

D級以上の公認審判委員は帯同審判であっても審判モラルを重視して担当すること

審判取得ライセンス及び帯同審判割当て等

- JSBFでは各チームにE級以上のJBA公認審判員を登録することが求められている
- 競技レベル向上のため、各チーム登録する帯同審判員の内、通年で担当できる審判員を選出すること
- 帯同審判割当てを無断及び直前でキャンセルした場合、等級に合わせた審判料を該当審判員に支払うこと
- 試合中の帯同審判員交代は認めません
※負傷、疾病等不意の事態には審判委員会若しくは会場の審判主任に相談すること

試合開始前にTOと審判員が揃って両チームのJBA公認コーチを確認すること

公認審判員を目指す方へ

多くの審判員は仕事の関係や学校の関係で所属を決めていますが、社会人チームに所属している選手やスタッフなら社会人連盟に所属することをお勧めします。今後バスケットボールに関わっていく上で活動しやすい所属がベストです。また、JSBF及びMSBFでは大会参加規則としてチーム内にE級以上のJBA公認審判員を登録する必要があります。公認審判資格を取得希望の方はバスケットボール会場にいる審判員に直接聞いてみたり、下記の担当者にメール等にてお問い合わせください。

- 審判委員長／田中 誠治
携帯電話： 090-5033-5874
Eメール : tana-109@intsurf.ne.jp

TO

TOクルー(テーブルオフィシャルズ)について

OTOクルーは、ゲーム開始10分前に着席すること

スコアラーは審判と協力し、7分前にスタートチェックを完了し
試合開始前にTOと審判員が揃って両チームのJBA公認コーチを確認すること

※JSBFルール

OTOクルーは原則6人(スコアラー、アシスタントスコアラー、タイマー、ショットクロックオペレーター
及びコートキーパーの2名) (無線TOの場合も同様)

OTOクルーは靴下での業務は厳禁(必ずシューズを履くこと)

●携帯電話BOXは廃止します。ポケットに入れておくのは可。TOテーブルに置くことは禁止

●試合中に使用しないようにすること。

※ハーフタイムは除く。使用禁止時間帯の使用を確認した場合はペナルティを個人に対して科します。

○水分補給のドリンク類はテーブル上に置かずに入おくこと(各種用紙や機器類に影響を及ぼさないため)

筆記用具は各チームで準備し持参すること　※定規を必ず持参すること

CKの携帯電話使用が目立ちます。ハーフタイム以外は使用禁止です！！！

コーチライセンスについて

試合前のスコアへのサインについて

○大会時のコーチライセンス運用について下記の手順で行います

- ①試合開始**7分前**までにスコアシートにスタート確認とサインをする(JSBFルール)
- ②スコアシートにサイン出来るのはパンフレット若しくはメンバー表に登録記載された**「ヘッドコーチ(HC)」**のみ
- ③サイン時にJBA公認コーチ証をスコアラーに提示すること

ヘッドコーチ(HC)とは

○試合中実際に指揮を執る者

○各大会で定められたJBA公認ライセンスを有すること

○試合前にスコアシートにサインする者

※監督、部長、ファーストアシスタントコーチ(FAC)、アシスタントコーチ(AC)はスコアシートにサインできません

○大会パンフレット又は提出したメンバー表のヘッドコーチ名と上記は同一人物になるように大会申込みをすること

HCは必ず公認コーチ証を印刷して首掛け

**ベンチスタッフはTeam-JBAのモバイル証を
運営管理者に提示を求められた際、すみやかに提示できるように！**

各大会においてスタッフの登録の際は下記のJBA公認コーチライセンス資格を保有していること。

		ヘッドコーチ	ファースト アシstantコーチ	アシstantコーチ	スタッフ総計
選手権 (ブロック大会含む)	必須ライセンス	D級以上	E級以上	—	総計6名
	エントリー	必須	必須	—	
	試合中のベンチ	帯同	帯同	—	
OA選手権 (ブロック大会含む)	必須ライセンス	D級以上	E級以上	—	総計6名
	エントリー	必須	必須	—	
	試合中のベンチ	帯同	帯同	—	
フレンドリー	必須ライセンス	E級以上	—	—	総計6名
	エントリー	必須	—	—	
	試合中のベンチ	帯同	—	—	

- 全ての役職は選手と兼任することができる

○県選手権予選の必須ライセンスはE級以上としエントリー及び試合中ベンチ帯同の必須

○県リーグの必須ライセンスはE級以上としエントリーも必須(大学は大学カテゴリーの規程に沿う)

○ブロック大会以上については上記の表に沿う

3. ヘッドコーチ・ファーストアシスタントコーチの代行について

ヘッドコーチ・ファーストアシスタントコーチが特段の理由が無く不在になった場合に
チームスタッフや選手で指定されたJBA公認コーチライセンスを持った方が代行できる

- 代行に関しては不在の理由は問わない。
- 例>ヘッドコーチ（JBA C級）が「仕事で来られない」→選手でJBA C級を持った方が代行できる。
- 指定されたJBA公認コーチライセンスを持った人がいないときは代行はできない。
- 代行においてヘッドコーチとファーストアシスタントコーチの兼任は認めない。
- ヘッドコーチが不在でファーストアシスタントコーチが指定されたJBA公認コーチライセンスを持っていればファーストアシスタントコーチがヘッドコーチの代行になることを認める。その際は新たにJBA公認コーチライセンス保持したファーストアシスタントコーチを代行する人を登録する事。
- やむを得ない事情での変更はコーチライセンス規定に沿って変更を認める
- 代行の際の「事情を証明する書類」はJSBに提出する必要はありません。

やむを得ない事情でヘッドコーチ・ファーストアシスタントコーチの変更を認める場合

- 病気・コロナや家庭の事情（ご不幸等）、公共交通機関の遅れ等で大会本部がやむを得ない事情と判断したときは、JSBコーチライセンス規定に沿って対応してください。

■JBA公認コーチ資格保持者が不在となった場合の対応について

http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/coach_licenseStandard_info01_20170401.pdf

■大会中のコーチ資格保持者不在による報告書（大会参加チーム→大会主催者）

http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/coach_licenseStandard_report1.pdf

エントリー変更について

- 3日前までのエントリー変更を認めているので、事前に「仕事など」で不在が決定しているときはエントリー変更で対応する。

○ブロック大会以上については上記に沿う

各種選手権県予選でのコーチライセンス運用の規程

2チーム以上でのHC登録を認めない（県リーグ戦を除く）

○同一選手権大会において、HC・FACの2チーム以上での同一人物による登録は認めない

2026年度よりコーチライセンス運用の規程が変わります

HCはD級以上、FACはE級以上必須

○同一選手権大会において、HC・FACの2チーム以上での同一人物による登録は認めない

○HC・FACは大会期間中に変更することができる。

ただし、Team-JBA登録済みのライセンス保持者とし、他チームでHC・FACで出場していないこと

試合開始時にHC・FACの特段の理由が無くどちらかが不在となった場合は没収ゲームとなる

2025年度中にD級(複数名)取得を！！！

TO

FS(フレンドリー)カテゴリーチームについて

FSは全国交流会においても求めるコーチライセンスはE級以上です。
県内選手権に出場する場合でもE級で参加可能ですが、
ブロック大会出場ではD級以上を求められます。

公認コーチを目指す方へ

JSBF及びMSBFでは大会参加規則としてチーム内にE級以上のJBA公認コーチを登録する必要があります。
また大会毎に求められる最低等級のJBA公認コーチが必要です。
公認審判取得と同じく公認コーチ取得希望者はバスケットボール会場にいる審判員や役員に直接聞いてみたり、下記の担当者にメール等にてお問い合わせ下さい。

- TO委員長／内田 諭志
携帯電話： 090-7694-1204
Eメール : sato.310415@gmail.com

大会運営は原則最新版のJBAガイドラインとします

- 会場役員から大会運営時のルール違反、規定及び規約に抵触する事項が確認、指摘された場合、JSBF及びMSBFの競技規則と懲罰基準に沿って対応する。
- 県内大会での事例はMSBFで対応し、PBA(県協会)の対応が必要な場合はそれに沿う。
- ブロック大会以上はJSBFが対応し、JBAの対応が必要な場合はそれに沿う。
- JSBFは大会運営を規制、またチームや選手に懲罰を科す権限は無い

大会運営規律違反及び著しく運営に非協力な行動に対して

●MSBFで規制及び懲罰(ペナルティ)を科し対応する

- | | |
|------------------------|-----------------------------|
| ① 個人に対して…1回目 | (厳重注意) |
| ② 個人に対して…2回目 | (次試合出場停止) |
| ③ 個人に対して…3回目以降 | (その都度次試合出場停止) ※累積はゼロにはならない |
| ④ チームに対して…1回目 | (厳重注意) |
| ⑤ チームに対して…2回目 | (試合日外の同日2回のTO及び会場設営又は片付け割当) |
| ⑥ チームに対して…チーム内に個人2回の累積 | (試合日外の同日2回のTO及び会場設営又は片付け割当) |

※上記⑤及び⑥は適用後累積はゼロになる(最低6人必要)

※上記全てリーグ戦、各選手権に該当する

★ 物品破損(会場施設設備品・設備)は当事者の責任としMSBFは一切の責を負わない。

ただし、運営管理者として使用責任は問われるので、施設側より対応を求められた場合は他でもない。

(MSBFから当事者にペナルティを科す)

インティグリティについて

暴力や暴言、していませんか？



暴力的行為には、直接的な暴力行為のほか、間接的な威嚇(いかく)行為も含まれます。選手の人格・能力、関係者や家族を否定する言葉、長時間にわたる厳しい叱責(しっせき)、威圧(いあつ)、罵倒(ばとう)も含まれます。

ハラスメント、していませんか？

地位や人間関係などのチーム内の優位性を背景に、指導の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛（試合には出場させない、エントリーに選ばない）を与え、又はその環境を悪化させる行為のことです。

U12からU18カテゴリーまた家族や子供達までが見に来ています。

社会人バスケットボールが模範となるようなバスケットを心掛けましょう。

最後に…

朝は気持ちの良い挨拶で始めよう

バスケットシューズや外靴に適時履き替え区別すること

喫煙は施設のルールを厳守

ゴミは各自で持ち帰る

暴言・暴力を無くし相手チーム(選手・スタッフ)、審判を常にリスペクト

コートフロアの裸足、スリッパは禁止です。

バスケットシューズ若しくは最低限靴下を必ず履いてください。

※靴下での入場を禁止していましたが、最低限靴下を履いていれば入場を許可します。

社会人としての意識・モラルを再認識しよう！！！